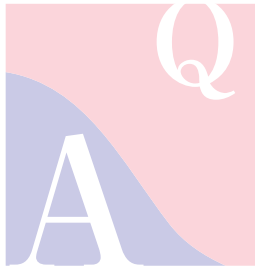


ハロー! 健康

おくすり相談
Q&A貧血の治療薬について
教えてください。

薬剤部 安田 俊太郎

私たちの体をかけめぐっている血液は、全身に必要な酸素や栄養素を運んでいます。貧血とは、酸素を運ぶ働きをする赤血球中のヘモグロビン(Hb)が少なくなった状態をいい、全身の酸素不足から倦怠感や息切れなど多彩な症状が現れます。

貧血の原因は様々ですが、最も多いのはHbを構成する鉄分の不足による鉄欠乏性貧血です。まずは出血や偏食などの原因を取り除くことが必要ですが、治療としては鉄剤(フェロミア®など)を服用することで直接鉄分を補います。通常は2~3週間で効果が認められますが、症状が改善してからも肝臓などにストックとして蓄えられる貯蔵鉄を補うために約6か月間は服用を継続することが必要とされています。

ビタミンB₁₂や葉酸が不足しても赤血球の産生はうまく進みません。ビタミンB₁₂が不足している場合は

メコバラミン(メチコパール®)でこれを補います。葉酸が不足している場合は通常十分な食事を摂ることで改善が期待できます。

一方、再生不良性貧血では血液を造る骨髄の働きが低下し、赤血球だけでなく白血球、血小板も一様に減少します。治療としては造血を抑制している過剰な免疫を抑えるお薬ATG(リンフォグロブリン®)、シクロスポリン(ネオール®)などを用います。

貧血といえば鉄分を摂れば大丈夫と考える方もいますが、実際には様々な種類の貧血があり、貧血という症状が他の隠れた病気の早期発見の糸口になる場合もあります。もし貧血が見つかった場合には、たかが貧血と考えず、原因を正しく突き止め、正しい知識を身につけて貧血を予防・改善していきましょう。

アロカルト!

「ピカ新」の誕生

古代の薬は、洋の東西を問わず、人が経験的に知った草根木皮を利用していました。

薬が科学的に研究され、医療に用いられるようになった

のは、19世紀以降です。19世紀に入ると、科学者は医療に用いられる植物から有効成分だけを抽出しようと試み始め、アヘンからモルヒネが抽出されました。その後、薬は、抽出から合成へと研究が進みました。そして、合成された有名な薬のひとつに、タキソール®があります。

タキソール®は、乳がん等に広く使われる20世紀最



薬剤部 近藤 忠男

高の抗がん剤ともいわれ、イチイの一種の樹皮から発見されました。しかし、イチイの木は成長が非常に遅い上、樹皮を剥くとすぐに枯れてしまい、必要量を天然から求めるのは不可能でした。そのため、合成による供給が求められました。

タキソール®の合成レースには、全世界から30以上のグループが参加しました。参戦した主なメンバーには、ノーベル化学賞を受賞した科学者や有機化学界のスーパースターも名を連ね、熾烈を極めたレースが繰り広げられましたが、20年という長い歳月を経てようやく全ての合成に成功しました。

このように科学者たちの血と汗と涙の結晶として「ピカ新」といわれる輝かしい新薬が誕生したのです。